

# 目次

はしがき

初出一覧

凡例

## 第一部 統治行為の理論

### 第一章 統治行為論

はじめに 2

第一節 フランスの学説とその影響 3

第二節 わが国の内在的制約説と自制説 14

第三節 裁判の対象外となるもの 23

第四節 統治行為の要素 26

第五節 統治行為の根拠 30

第六節 苫米地事件判決・砂川事件判決等の判例の解釈 39

おわりに 51

## 第二章 統治行為に関する学説の検討

序 53

第一節 統治行為に関する学説—フランス— 55

第二節 統治行為に関する学説—日本— 86

第三節 裁判の対象外となるもの 103

第四節 統治行為の要素 106

第五節 統治行為の根拠 112

第六節 統治行為論の方向性 122

## 第二部 条約と統治行為

### 第一章 裁判による条約の審査とその限界

問題の所在 132

第一節 予備的考察 134

第二節 裁判による条約の審査とその限界—フランス— 165

第三節 裁判による条約の審査とその限界—日本— 214

第四節 条約と裁判による審査 242

第二章 条約の運用停止と統治行為……………246

問題の所在 246

第一節 条約の運用停止 247

第二節 条約の運用停止に関する具体的検討―フランスの場合― 256

第三節 統治行為論の適用可能性 276

むすび 284